

# 決算短信補足資料

( 2018年3月期決算 )

2018年4月27日

西日本旅客鉄道株式会社

# 1.決算ハイライト

(単位：億円)

	2017年3月期 通期実績 A	2018年3月期 通期実績 B	対前年		2019年3月期 通期予想 C	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A		増減 C-B	比率(%) C/B
<b>【連結】</b>							
営業収益	14,414	15,004	+590	104.1	15,255	+250	101.7
営業利益	1,763	1,913	+149	108.5	1,875	▲ 38	98.0
経常利益	1,607	1,777	+169	110.6	1,740	▲ 37	97.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	912	1,104	+192	121.0	1,110	+5	100.5
<b>【単体】</b>							
営業収益	9,561	9,762	+201	102.1	9,880	+117	101.2
運輸収入	8,496	8,678	+181	102.1	8,780	+101	101.2
営業費用	8,206	8,319	+112	101.4	8,430	+110	101.3
人件費	2,233	2,214	▲ 18	99.2	2,170	▲ 44	98.0
物件費	3,943	4,076	+132	103.4	4,265	+188	104.6
動力費	405	440	+35	108.7	465	+24	105.5
修繕費	1,571	1,614	+42	102.7	1,725	+110	106.8
業務費	1,966	2,021	+54	102.8	2,075	+53	102.7
減価償却費	1,376	1,368	▲ 8	99.4	1,365	▲ 3	99.8
営業利益	1,354	1,443	+88	106.6	1,450	+6	100.4
経常利益	1,184	1,286	+101	108.6	1,310	+23	101.8
当期純利益	708	807	+99	114.0	895	+87	110.8

# 2. 単体損益計算書

(単位：億円)

	2017年3月期 通期実績 A	2018年3月期		対前年		対予想 増減 C-B
		通期予想 (1/31公表) B	通期実績 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	9,561	9,720	9,762	+201	102.1	+42
運輸収入	8,496	8,640	8,678	+181	102.1	+38
その他収入	1,064	1,080	1,084	+19	101.9	+4
営業費用	8,206	8,310	8,319	+112	101.4	+9
人件費	2,233	2,205	2,214	▲ 18	99.2	+9
物件費	3,943	4,060	4,076	+132	103.4	+16
動力費	405	450	440	+35	108.7	▲ 9
修繕費	1,571	1,600	1,614	+42	102.7	+14
業務費	1,966	2,010	2,021	+54	102.8	+11
線路使用料等	302	305	302	▲ 0	99.7	▲ 2
租税公課	349	360	357	+7	102.1	▲ 2
減価償却費	1,376	1,380	1,368	▲ 8	99.4	▲ 11
営業利益	1,354	1,410	1,443	+88	106.6	+33
営業外損益	▲ 170	▲ 160	▲ 157	+12	92.4	+2
営業外収益	61	60	62	+0	-	+2
営業外費用	231	220	219	▲ 12	-	▲ 0
経常利益	1,184	1,250	1,286	+101	108.6	+36
特別損益	▲ 165	▲ 30	▲ 92	+73	-	▲ 62
特別利益	183	-	298	+115	-	-
特別損失	349	-	390	+41	-	-
当期純利益	708	845	807	+99	114.0	▲ 37

# 3.運輸収入の主な増減要因

(単位：億円)

		2018年3月期 通期実績				
		運輸収入	対前年	主な増減要因		
新幹線	4,477	+131 (103.0%)	基礎トレンド(101.6%)	+70		
			特殊要因	・熊本地震反動	+27	
				・GW、年末年始好調	+11	
				・曜日配列(3連休、飛び石連休)	+8	
				・インバウンド	+3	
				・雪害	+1	
			等			
在来線	近畿圏	+39 (101.3%)	基礎トレンド(100.9%)	+26		
			特殊要因	・インバウンド	+8	
				・GW、年末年始好調	+3	
				・曜日配列(3連休、飛び石連休)	+2	
				・シニア	+0	
				・雪害	▲ 3	
	等					
	その他	1,110	+10 (100.9%)	基礎トレンド(100.5%)	+5	
				特殊要因	・GW、年末年始好調	+2
					・インバウンド	+0
					・シニア	+0
					・曜日配列(3連休、飛び石連休)	+0
					・雪害	▲ 5
等						
在来線計	4,200	+50 (101.2%)				
運輸収入計	8,678	+181 (102.1%)				

※荷物収入は金額些少のため省略

# 4.運輸収入と旅客輸送量の実績

運輸収入

(単位：億円)

輸送人口

(単位：百万人キロ)

	通期実績 (4/1~3/31)			4Q実績 (1/1~3/31)		
	2017年 3月期	2018年 3月期	対前年	2017年 3月期	2018年 3月期	対前年
全社計	8,496	8,678	+181 102.1%	2,067	2,085	+18 100.9%
新幹線	4,346	4,477	+131 103.0%	1,044	1,061	+16 101.6%
定期	102	107	+5 105.0%	25	26	+0 103.5%
定期外	4,243	4,369	+126 103.0%	1,018	1,034	+16 101.6%
在来線	4,150	4,200	+50 101.2%	1,022	1,024	+1 100.1%
定期	1,415	1,420	+5 100.4%	339	340	+0 100.3%
定期外	2,735	2,779	+44 101.6%	683	683	+0 100.1%
近畿圏	3,050	3,090	+39 101.3%	748	752	+3 100.5%
定期	1,164	1,169	+5 100.5%	280	281	+1 100.4%
定期外	1,885	1,920	+34 101.8%	468	470	+2 100.5%
その他	1,100	1,110	+10 100.9%	273	271	▲2 99.2%
定期	251	251	▲0 99.9%	58	58	▲0 99.8%
定期外	849	859	+10 101.2%	214	212	▲2 99.0%

	通期実績 (4/1~3/31)			4Q実績 (1/1~3/31)		
	2017年 3月期	2018年 3月期	対前年	2017年 3月期	2018年 3月期	対前年
全社計	58,271	59,291	+1,020 101.8%	13,926	14,074	+147 101.1%
新幹線	20,348	21,022	+674 103.3%	4,871	4,958	+86 101.8%
定期	815	846	+30 103.8%	197	204	+7 103.6%
定期外	19,532	20,176	+643 103.3%	4,674	4,753	+79 101.7%
在来線	37,923	38,269	+345 100.9%	9,054	9,115	+60 100.7%
定期	22,723	22,831	+108 100.5%	5,283	5,301	+18 100.3%
定期外	15,200	15,437	+237 101.6%	3,771	3,814	+42 101.1%
近畿圏	29,592	29,872	+279 100.9%	7,064	7,118	+54 100.8%
定期	18,689	18,787	+98 100.5%	4,377	4,397	+19 100.4%
定期外	10,903	11,084	+181 101.7%	2,686	2,721	+35 101.3%
その他	8,330	8,397	+66 100.8%	1,990	1,997	+6 100.3%
定期	4,033	4,043	+9 100.2%	905	904	▲0 99.9%
定期外	4,297	4,353	+56 101.3%	1,085	1,092	+7 100.7%

# 5. 単体営業費用の主な増減要因

(単位：億円)

	2018年3月期通期実績		
		対前年	主な増減要因
人件費	2,214	▲ 18 (99.2%)	・人員差 等
動力費	440	+35 (108.7%)	・燃料費調整額増 等
修繕費	1,614	+42 (102.7%)	・部外関連工事増 等
業務費	2,021	+54 (102.8%)	・システム関連経費増 ・燃料費調整額増 等
線路使用料等	302	▲ 0 (99.7%)	
租税公課	357	+7 (102.1%)	・固定資産税増 等
減価償却費	1,368	▲ 8 (99.4%)	・償却進捗 等
営業費用計	8,319	+112 (101.4%)	

# 6.連結損益計算書

(単位：億円)

	2017年3月期 通期実績 A	2018年3月期		対前年		対予想 増減 C-B
		通期予想 (1/31公表) B	通期実績 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	14,414	14,970	15,004	+590	104.1	+34
営業費用	12,650	13,115	13,090	+440	103.5	▲ 24
営業利益	1,763	1,855	1,913	+149	108.5	+58
営業外損益	▲ 156	▲ 150	▲ 135	+20	87.0	+14
営業外収益	80	72	90	+10	-	+18
営業外費用	237	222	226	▲ 10	-	+4
経常利益	1,607	1,705	1,777	+169	110.6	+72
特別損益	▲ 230	▲ 40	▲ 71	+159	-	▲ 31
特別利益	196	-	328	+132	-	-
特別損失	426	-	399	▲ 26	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	912	1,105	1,104	+192	121.0	▲ 0
包括利益	920	-	1,141	+220	124.0	-

# 7.セグメント情報

(単位：億円)

	2017年3月期 通期実績 A	2018年3月期		対前年		対予想 増減 C-B
		通期予想 (1/31公表) B	通期実績 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益 <sup>*1</sup>	14,414	14,970	15,004	+590	104.1	+34
運輸業	9,291	9,465	9,508	+217	102.3	+43
流通業	2,339	2,408	2,398	+59	102.5	▲ 9
物販・飲食	1,525	1,622	1,617	+91	106.0	▲ 4
【宿泊特化型ホテル】(再掲) <sup>*2</sup>	【108】	【117】	【116】	【+8】	【108.2】	【▲ 0】
百貨店	734	706	701	▲ 33	95.5	▲ 4
不動産業	1,095	1,387	1,396	+300	127.5	+9
ショッピングセンター	605	591	596	▲ 9	98.5	+5
不動産賃貸・販売	472	777	781	+309	165.5	+4
【不動産販売】(再掲)	【161】	【349】	【350】	【+188】	【217.2】	【+0】
その他	1,688	1,710	1,700	+12	100.7	▲ 9
ホテル	362	359	356	▲ 5	98.5	▲ 2
旅行	420	410	413	▲ 6	98.4	+3
営業利益 <sup>*1</sup>	1,763	1,855	1,913	+149	108.5	+58
運輸業	1,217	1,271	1,303	+85	107.0	+32
流通業	52	70	72	+20	138.9	+2
物販・飲食	51	-	60	+9	118.3	-
百貨店	▲ 1	-	9	+11	-	-
不動産業	322	355	357	+35	111.1	+2
ショッピングセンター	96	-	87	▲ 9	90.1	-
不動産賃貸・販売	116	-	173	+57	149.3	-
その他	204	190	199	▲ 5	97.5	+9
ホテル	24	-	19	▲ 5	79.6	-
旅行	6	-	2	▲ 4	39.3	-

\*1 各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

\*2 宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」の合計値です。ただし、下関店（非連結）、浅草店（その他業）、広島銀山町店（その他業）は除きます。

# 8.各セグメントの主な増減要因

(単位：億円)

			2018年3月期通期実績			主な増減要因
			対前年			
			増減	比率(%)		
流通業	物販・飲食	営業収益	1,617	+91	106.0	・セブン-イレブン提携店舗好調 等
		営業利益	60	+9	118.3	
	百貨店	営業収益	701	▲ 33	95.5	・大阪店B1,B2営業終了 等
		営業利益	9	+11	-	
不動産業	ショッピングセンター	営業収益	596	▲ 9	98.5	・直営店舗閉店 等
		営業利益	87	▲ 9	90.1	
	不動産賃貸・販売	営業収益	781	+309	165.5	・菱重プロパティーズ新規連結、販売戸数増 等
		営業利益	173	+57	149.3	
その他	ホテル	営業収益	356	▲ 5	98.5	
		営業利益	19	▲ 5	79.6	
	旅行	営業収益	413	▲ 6	98.4	
		営業利益	2	▲ 4	39.3	

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

# 9.連結財政状況およびキャッシュフロー計算書

(単位：億円)

	2017年3月期 期末 A	2018年3月期 期末 B	増減 B-A
資産	30,078	30,729	+651
負債	19,752	19,566	▲185
純資産	10,326	11,163	+836
長期債務残高	10,379	10,322	▲56
【長期債務平均金利 (%)】	【1.97】	【1.86】	【▲0.11】
新幹線債務	1,046	1,038	▲8
【新幹線債務平均金利 (%)】	【6.55】	【6.55】	【-】
社債	5,349	5,249	▲99
【社債平均金利 (%)】	【1.75】	【1.58】	【▲0.17】
自己資本比率 (%)	31.3	33.2	+1.9
1株当たり純資産 (円)	4,857.50	5,273.42	+415.92

	2017年3月期 通期実績 A	2018年3月期 通期実績 B	対前年増減 B-A
営業活動によるキャッシュフロー	2,341	2,751	+409
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 2,958	▲ 1,663	+1,294
フリーキャッシュフロー	▲ 616	1,087	+1,704
財務活動によるキャッシュフロー	443	▲ 714	▲1,157
現金及び現金同等物の増減	▲ 173	381	+554
現金及び現金同等物の期末残高	633	1,014	+381

# 10.単体業績予想

(単位：億円)

	2018年3月期 通期実績 A	2019年3月期 通期予想 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	9,762	9,880	+117	101.2
運輸収入	8,678	8,780	+101	101.2
その他収入	1,084	1,100	+15	101.5
営業費用	8,319	8,430	+110	101.3
人件費	2,214	2,170	▲ 44	98.0
物件費	4,076	4,265	+188	104.6
動力費	440	465	+24	105.5
修繕費	1,614	1,725	+110	106.8
業務費	2,021	2,075	+53	102.7
線路使用料等	302	275	▲ 27	91.0
租税公課	357	355	▲ 2	99.3
減価償却費	1,368	1,365	▲ 3	99.8
営業利益	1,443	1,450	+6	100.4
営業外損益	▲ 157	▲ 140	+17	89.1
営業外収益	62	75	+12	-
営業外費用	219	215	▲ 4	-
経常利益	1,286	1,310	+23	101.8
特別損益	▲ 92	▲ 20	+72	-
特別利益	298	-	-	-
特別損失	390	-	-	-
当期純利益	807	895	+87	110.8

# 11.運輸収入の見通し

(単位：億円)

		2019年3月期 通期見通し			
		対前年	主な増減要因		
新幹線	4,547	+70 (101.6%)	基礎トレンド(101.0%)		+43
			特殊要因	・インバウンド	+15
				・曜日配列	+5
				・雪害反動	▲ 1
		等			
在来線	3,120	+30 (101.0%)	基礎トレンド(100.0%)		+1
			特殊要因	・インバウンド	+13
				・雪害反動	+3
				・曜日配列	+0
		等			
在来線	1,111	+0 (100.1%)	基礎トレンド(99.3%)		▲ 8
			特殊要因	・雪害反動	+5
				・インバウンド	+3
				・曜日配列	+0
		等			
在来線計		4,232	+31 (100.7%)		
運輸収入計		8,780	+101 (101.2%)		

※荷物収入は金額些少のため省略

# 12.単体営業費用の見通し

(単位：億円)

	2019年3月期通期見通し		
		対前年	主な増減要因
人件費	2,170	▲ 44 (98.0%)	・人員差 等
動力費	465	+24 (105.5%)	・燃料費調整額増 等
修繕費	1,725	+110 (106.8%)	・設備投資に伴う撤去工事等の増 ・構造物対策経費増 等
業務費	2,075	+53 (102.7%)	・システム関連経費増 ・燃料費調整額増 等
線路使用料等	275	▲ 27 (91.0%)	・JR東西線 等
租税公課	355	▲ 2 (99.3%)	
減価償却費	1,365	▲ 3 (99.8%)	
営業費用計	8,430	+110 (101.3%)	

# 13.連結業績予想

(単位：億円)

	2018年3月期 通期実績 A	2019年3月期 通期予想 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	15,004	15,255	+250	101.7
営業費用	13,090	13,380	+289	102.2
営業利益	1,913	1,875	▲ 38	98.0
営業外損益	▲ 135	▲ 135	+0	99.4
営業外収益	90	86	▲ 4	-
営業外費用	226	221	▲ 5	-
経常利益	1,777	1,740	▲ 37	97.9
特別損益	▲ 71	▲ 70	+1	-
特別利益	328	-	-	-
特別損失	399	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,104	1,110	+5	100.5
1株当たり当期純利益 (円)	570.72	573.33	-	-

# 14.連結業績予想(セグメント別)

(単位：億円)

	2018年3月期 通期実績 A	2019年3月期 通期予想 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益 <sup>*1</sup>	15,004	15,255	+250	101.7
運輸業	9,508	9,620	+111	101.2
流通業	2,398	2,448	+49	102.1
物販・飲食	1,617	1,670	+52	103.3
【宿泊特化型ホテル】(再掲) <sup>*2</sup>	【116】	【127】	【+10】	【109.0】
百貨店	701	691	▲ 10	98.6
不動産業	1,396	1,478	+81	105.8
ショッピングセンター	596	607	+10	101.8
不動産賃貸・販売	781	851	+69	109.0
【不動産販売】(再掲)	【350】	【407】	【+57】	116.4
その他	1,700	1,709	+8	100.5
ホテル	356	361	+4	101.3
旅行	413	419	+5	101.3
営業利益 <sup>*1</sup>	1,913	1,875	▲ 38	98.0
運輸業	1,303	1,306	+2	100.2
流通業	72	57	▲ 15	78.1
物販・飲食	60	44	▲ 16	72.3
百貨店	9	10	+0	101.1
不動産業	357	334	▲ 23	93.3
ショッピングセンター	87	85	▲ 2	97.5
不動産賃貸・販売	173	156	▲ 17	89.7
その他	199	211	+11	105.7
ホテル	19	14	▲ 5	70.5
旅行	2	3	+0	109.6

<sup>\*1</sup> 各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

<sup>\*2</sup> 宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」の合計値です。ただし、下関店（非連結）、浅草店（その他業）、広島銀山町店（その他業）は除きます。

# 15.各セグメントの見通し

(単位：億円)

			2019年3月期通期予想			
			対前年		主な増減要因	
			増減	比率(%)		
流通業	物販・飲食	営業収益	1,670	+52	103.3	・セブン-イレブン提携店舗新規出店 等
		営業利益	44	▲ 16	72.3	・宿泊特化型ホテル開業経費 等
	百貨店	営業収益	691	▲ 10	98.6	・リニューアル工事支障 等
		営業利益	10	+0	101.1	
不動産業	ショッピングセンター	営業収益	607	+10	101.8	・広島ekie開業平年度化 等
		営業利益	85	▲ 2	97.5	
	不動産賃貸・販売	営業収益	851	+69	109.0	・販売戸数増、賃貸物件開業 等
		営業利益	156	▲ 17	89.7	・賃貸物件新規開業費用 等
その他	ホテル	営業収益	361	+4	101.3	
		営業利益	14	▲ 5	70.5	
	旅行	営業収益	419	+5	101.3	
		営業利益	3	+0	109.6	

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

# 16.諸元表

(単位：人、億円)

	2017年3月期 通期実績	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期予想
連結ROA (%)	6.0	6.3	6.0
連結ROE (%)	10.0	11.3	10.5
連結EBITDA <sup>*1</sup>	3,391	3,561	3,552
連結減価償却費	1,627	1,635	1,665
連結設備投資 (自己資金)	1,924	1,694	2,800
単体設備投資 (自己資金)	1,598	1,278	2,180
安全関連投資	1,050	832	1,270
1株当たり配当金 (円)	140	160	175

\*1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

	2017年3月期 通期実績		2018年3月期 通期実績		2019年3月期 通期予想	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数 (就業人員)	47,382	25,821	47,869	25,291	—	—
金融収支	▲ 216	▲ 210	▲ 202	▲ 196	▲ 193	▲ 172
受取利息・配当金	6	11	7	12	7	27
支払利息	223	222	209	208	200	199

# 将来の見通しに関する注意事項

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとしうる重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
  - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
  - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
  - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
  - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
  - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2018年4月27日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2018年4月27日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <http://www.westjr.co.jp/company/ir/>